

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
Webデザイン演習 Web Design		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	留学生は2年生で履修すること
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
亀田和則	講義棟2F	月曜日		授業中に指示します
授業の概要				
<p>これまでWebサイトを構築する方法として、マークアップ言語を直接記述する方法とDreamweaver等の専用ソフトを用いる方法が主流であったが、現在はCMSによるサイト構築が注目されており、Jimdoが初心者向けとして着目されている。この授業ではJimdoによるWebサイト構築の基礎を学ぶ。 SEO対策やWebマスターツール、Googleアナリティクスおよびキーワードプランナーについても学ぶ。</p>				
授業の目標				
<p>①キーワードプランナーを操作できるようにする。 ②Jimdoの登録をできるようにする。 ③Jimdoの機能（ホームページのタイトル入力、ナビゲーション入力、見出し入力、文章入力、コンテンツ追加、カラム追加、余白バランス、水平線追加、リンク設定、Googleマップ追加）を実行できるようにする。 ④集客力につながるWeb文章を作成できるようにする。</p>				
授業の方法				
<p>①3つの目標を達成させるために、テキストに沿った演習を行う。 ②演習の進捗は揃えるので、終了しない部分は課題となる。 ③スケジュールを変更する際には、授業で連絡する。</p>				
学習の成果（学習成果）				
授業の目標①②③④を達成すると、集客のあるWebサイトを構築することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（学習成果、成績評価） Jimdoって、どんなサービスなのかを講義する			
第2回目	ホームページを作るための事前準備をしよう			
第3回目	ホームページの土台を作ろう			
第4回目	TOPページを作ろう			
第5回目	TOPページの形を整えよう			
第6回目	新しいページを追加してみよう			

第7回目	インフォメーションのページを作ってみよう
第8回目	ホームページ全体のスタイルを整えよう ※教科書の演習を終了する
第9回目	ホームページとSNSの違い Web文章入門（わかりやすい文章の10大原則）
第10回目	Web文章入門（キャッチコピー、ページタイトルの役割、漢字とひらがなの使い分け）
第11回目	お店の経営者になったと仮定し、ホームページを作ってみよう1（お店の選定、肖像権・著作権について）
第12回目	お店の経営者になったと仮定し、ホームページを作ってみよう2（お客が喜ぶお店のイメージ、扱う商品について）
第13回目	お店の経営者になったと仮定し、ホームページを作ってみよう3（実際に作成する）
第14回目	お店の経営者になったと仮定し、ホームページを作ってみよう4（教員からのアドバイス）
第15回目	自分で作るホームページを提出

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	40%	教科書の演習が該当する。満点となる条件は「教科書で指示された機能を十分に活用して期限内に提出されている」である。
調査報告書		
小テスト	60%	自分で作るホームページが該当する。満点となる条件は「構築目的がビジネスに直結し、Webデザインが構築目的とよくマッチしており、Web文章が学習した内容を十分に活かされている」である。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

教科書：「はじめてのホームページ らくらく作成ガイド」（出版：小学館） ※必ず購入し、第一回目の授業から持参すること。

履修上の留意点・ルール

操作方法がわからないときは、原則として教員へ質問するが、隣の友達に質問をしてもよい。ただし、私語は慎むこと。2回の遅刻は1回の欠席となる。